

平成 28 年度
第 2 回 デイサービス翠のさと 運営推進会議議事録

日 時 : 平成 29 年 2 月 17 日(金) 14:00~15:00
場 所 : 翠のさと 会議室
出席者 : 米子市民生委員・児童委員 1 名
米子市認知症地域支援推進員 1 名
福米西校区自治連合会長 1 名
米子市長寿社会課職員 1 名
有限会社とんや代表取締役社長
デイサービス翠のさと管理者
翠のさと在宅事業部長
※ご利用者代表の方は、当日体調不良により欠席

会議概要

・有限会社とんや代表取締役 挨拶

昨年 8 月に第一回の運営推進会議を開催し、本日 2 回目となります。

前回の会議から半年がたち、ご利用者も少し増え、本年 3 月より定員数を現在の 10 名から 18 名にする予定としています。今後も宜しく願い致します。

1. 平成 28 年度デイサービス事業報告

・デイサービス翠のさと管理者より

地域包括ケア支援システムの理念『自助・互助・共助・公助』の役割分担を踏まえ、地域の中でどのように係わっていくかを模索している所です。

前回、「宣伝が少ないのではないか？」のご意見を頂き、公民館で行われた“文化祭”にご利用者と一緒に参加させていただきました。その他、今回も皆様からご意見を頂きたいと思っています。

前回から現在までの当事業所の取り組みの紹介として、広報誌「翠のさとだより」を添付しております。ご利用者も少しずつ増え、行事等も広報誌にあるように行っていますが、昨年末ごろより介護予防（事業対象）の依頼が増えて来ています。その背景として、一つに他事業所の閉鎖も有るようです。また、介護予防（事業対象）のご利用者の入浴希望が、問題となっているようです。当事業所は、介護予防でも入浴を行っていますが、他事業所はされていない所が多いようです。少し前にも、包括支援センタ

一より紹介がありましたが、まだ定員 18 名にしていなかった為、お断りするケースもありました。3 月より 18 名定員に致しますので、出来るだけ地域の皆様にご利用いただけるようにと思っています。市の方に伺います。この様に事業所が閉鎖する背景は何でしょうか。

2. 意見交換

・米子市長寿社会課職員より

地域密着型は閉鎖していない。通常のデイサービスは、閉鎖している所もある。理由としては解らないが、小規模多機能に変更されることも有る。

・米子市認知症地域支援推進員より

認知症は増えている。軽度の認知症の方は、自分は変わらない、出来ると思っておられる。しかし、ご家族がちょっとした事で不安になり騒がれる事でご本人が混乱してしまわれる。ご家族は、「治ってほしい」・「認知症にならないで欲しい」と思っておられる気持ちは十分に分かる。

各デイサービスの事業所の事については、ケアマネたちから見ると「あそこが良い」「ここは、こうだ」などの噂も多くなっている事も現実です。総合事業が始まり、支援の方の利用も増えて来ているが、翠のさとの事業所としてどうなのか？心配している所です。

・デイサービス翠のさと管理者より

事業所としては、経営的には大変です。前段で述べた通り、10 定員から 18 名定員に増やし出来るだけ、みなさまに利用して頂きたいと思っています。また、サ公住に入居されている方も、認知症の方が多く、認知症の方（外部の方も含め）をサポートできるようにして行きたいと考えています。

・福米西校区自治連合会長より

認知症は、どんな症状があるのか？

・米子市民生委員より

平素出来ていた事が出来なくなる。症状は、家族が一番わかると思います。自分が、したい事を押さえつけられると症状が出やすいと思います。

(ご家族の体験を話されました)

包括支援センターに相談したら良い。

・米子市認知症地域支援推進員より

高齢者の運転について

鳥取県は、アドバイザーを通達があると直ぐに設置しました。アドバイザーは自宅まで相談に来てくれます。

認知症になってしまうと、自分からは免許証の返還を殆どしません。(運転に自信があり、大丈夫と思っている為) また、家族が免許証の返還をすると、家族が免許証を取った不穏になられます。そんな時、アドバイザーを利用されると良いです。企業の中には、認知症サポーター養成講座をしている所もあります。

- ・福米西校区自治連合会長より
 認知症の勉強をしていく必要がありますね。
- ・米子市民生委員より
 施設以上に家族は頑張らないといけないと逆に思います。
- ・米子市認知症地域支援推進員より
 (ご自分の体験を話されました)
 自分も姑が認知症になり介護をしました。
 この時、姑に「あなたは、他人だ」と言われました。“他人だ”と言われた時、介護しやすくなりました。身内・親だと思って介護をすると、思いや色んな感情が出やすくなりますが、他人であると冷静になれました。
- ・福米西校区自治連合会長より
 認知症は、若くて何歳くらいから発症しますか？
- ・米子市認知症地域支援推進員より
 30～40歳の方もいます。全国で見ると29歳の方を知っています。この方は、初めうつ病と間違われておられました。
- ・デイサービス翠のさと管理者より
 認知症を隠すのではなく、周りに伝え、地域の方にも協力してもらう事が大事だと思います。
 認知症の方・要支援の方様々の方が翠のさとに来て下さっています。利用して下さっている方に対して一人一人の対応をしていきたいと考えています。また、地域の中で同活動できるのか？も考えています。
- ・福米西校区自治連合会長より
 地区でカラオケ大会をしている。翠のさとで、出来るだろうか？
 翠のさとを見に来てくれと言ってもなかなか来ないと思うので、場所の提供をされると、きっかけも出来良いのではないかと？
- ・米子市民生委員より
 地震などの災害避難場所に登録してもらおうと良いと思う。この様な発信をされると、いいと思います。3月26日に自治総会があるので参加して発信されたら良い。
- ・米子市認知症地域支援推進員より
 行事をされる時に、地域の方も参加してもらおうと良いと思います。保育園など良いのでは。
- ・デイサービス翠のさと管理者より
 福米保育園さんには以前敬老会などに参加して頂きました。また、ご参加いただく様お願いしたいと思います。

3. 総括

- **米子市長寿社会課職員より**

すごく活発な会議になっていたと思います。この様な場で、地域の方と交流を持つ事が出来たともいます。また、意見にありました、避難場所の協力などもされると良いと思います。半年に一度の地域密着の会議は大変だと思いますが、本日の様に意見交換が出来る事は素晴らしいと思います。

- **デイサービス翠のさと管理者より**

沢山のご意見を頂きありがとうございます。今後の参考に致します。

3月から18名定員となりますので、これからも利用者本位でケアしたいと考えております。また、半年に一度の運営推進会議も継続いたします。

- **有限会社とんや代表取締役より**

今回のお話し以外にも何かありましたらいつでも結構です。ご意見をお聞かせ下さい。